

目次 CONTENTS

- | 特集 |
- 1~3 **生まれ変わる新潟駅周辺**
 - 4 **にいがたCITY NOW**
 - 新年を迎えて 事業者の皆さんに話を聞きました
 - 「お待たせ! にいがたフード・エール便」プロジェクト
 - 5 **連載 ウォーキングコース・歴史探訪 おでかけナビ**
- 他3ページは区役所だより「情報ひろば」は別冊で発行しています

明るい未来に向かって

生まれ変わる 新潟駅周辺

鉄道の高架化をはじめとする新潟駅周辺の整備が進み、
新潟の都心エリアが大きく変化しています。
今号では新潟駅と周辺のまちの変化について紹介します。

新潟駅の旧2番線ホーム上から見た旧駅舎(左)と新駅舎(右) ※令和2年11月撮影

市長 **新春** メッセージ 明るい未来を切り拓き「選ばれる新潟」へ

新年おめでとうございます。

昨年、市民の皆さまには、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と、地域経済や社会活動の回復のための取り組みにご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、今年はいよいよ県都新潟の都心エリアが大きく変化する姿が見えてくる年です。新潟駅、万代、古町とつながる都心エリアを、皆さまにより身近に感じ、期待感を持っていただけるよう、「にいがた2km」と名付けました。新潟駅周辺の整備や国による中・長距離バスターミナルの事業化、都市再生緊急整備地域の候補地域になるなど、新潟市の拠点性向上に向けたさまざまな取り組みが動き始めています。官民が連携し、このエリアを人、モノ、情報が行き交う「稼げる都心」として、広く市全体の活性化へつなげていきます。



新潟駅は約60年ぶりに新しくなり、在来線の高架化は来年度末に完成予定、万代広場は令和5年

度ごろの供用を目指し、整備を進めています。この新しい駅をシンボルとし、市民の皆さまと共に日本海側の拠点都市にふさわしい「活力ある新潟」を切り拓いていきます。

また、リモートワークが普及し、今後も社会のデジタル化が一層加速していくことが見込まれます。こうした潮流を踏まえ、住みたいまち、訪れたいまち、ビジネスを展開するまちとして「選ばれる新潟」づくりを進めることで、市民生活の向上や経済の活性化、雇用の創出を図っていきます。

最後になりますが、感染症はまだ収束していないことから、引き続き感染拡大防止にご協力をお願い申し上げます。

皆さまにとって明るい一年となりますよう祈念しております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新潟市長 中原 八一